

はまなす通信

Rosa rugosa Mail

勤医協福祉会

〒003-0804 札幌市白石区
菊水4条1丁目8番6号
TEL011-811-8002

社会福祉法人

勤医協福祉会だより

2022 冬号

2022年冬号(通算第13号)
発行責任者 松本 宜子

新規事業開設!

しのろヘルパーステーション/訪問介護看護24時間ひかり

2022年6月1日より新たに勤医協しのろ在宅総合センターに訪問介護事業・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業を新規開設いたしました。住宅入居者様や地域の利用者様が、最後まで安心して住み続けられるよう24時間365日営業をしています。(訪問介護看護24時間ひかりは要します)新型コロナ感染拡大が長期化する中で、陽性者となっても入院ができないということも少なくありません。コロナにより在宅介護サービスの重要性がさらに増しているように思います。自宅待機が続く場合、昼夜問わず健康観察、食事や薬の管理などが必要となります。わたしたちも対応しています。また、『最期は自宅で』と選択される方が多くなっています。日本はこれから本格的な高齢多死社会を迎えますが、そうした地域の声を受け止め、自分が望む人生の最期を、住み慣れた自宅

勤医協しのろヘルパーステーション
勤医協訪問介護看護24時間ひかり

〒002-8026

札幌市北区篠路6条1丁目1-1

TEL011-775-2899

FAX011-774-1299



で最大限、生活を維持・向上できるように、訪問看護との連携なかで、わたしたちが支えられるように、「人権尊重の多職種協働を実践する力」を育みながら、この事業が地域に根差していきけるように奮闘して参りたいと思います。

平和社保委員会より

～米軍の暴挙に抗議しました～

10月1日から14日にかけて行われた陸上自衛隊と米海兵隊の日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン」。東区にある丘珠駐屯地に、米軍普天間飛行場(沖縄県)から米海兵隊の輸送機MV22オスプレイが飛来し、矢白別演習場など、道内各地で共同演習が強行されました。世界各地でたびたび墜落するオスプレイ、日米で合意されていない超低空飛行訓練も行われ、「換気のために窓をあけると音がうるさくて相手の声が聞こえない」「窓を閉めると、食器棚や窓が揺れる」「治療をしている患者さんも怖がっている」と、多くの人から不安と、苦情の聲が寄せられます。



札幌市にも詳細は伝えられていません。福祉会では、札幌市東区と北区の4センターが札幌市と防衛局に抗議文を提出。緊急に行動にも職員が参加し、「地域の方が安心して住めるまちづくりから見てもオスプレイは必要ありません」と、多くの方々と訴えました。憲法9条を生かした平和外交こそ、今声を大きくしていくことが大切だと思います。



今年も九月から一〇月にかけて友の会活動拡大月間に取組みました。今年度は開始前の八月三〇日にブロックまちづくり担当者と協議を開催し、各ブロック担当者がインターネットを通してビデオ会議を活用して集結しました。方針の確認と意思統一を行い、各地域友の会との連携や共同の取組について情報交換を行いました。今年度の月間では、友の会会員拡大が四三名、いつでも元氣購読拡大は一七部といずれも前年を上回る拡大となりました。新たに取組んだ新介護署名「介護保険制度の改善を求める請願書名」は目標の四六%到達でしたが、利用者様やご家族様、他法人の介護事業所にも呼びかけ二〇〇



りました。昨年コロナ禍で学習会や健康相談会はあまり開催されませんでした。今年友の会からの要望もあり、近隣の診療所やクリニック、友の会とともに感染対策をしっかりと行わない、二二回の健康相談会や学習会などに参加し、介護保険制度や高齢者の住まい、健康管理などの講義を担当しました。地域訪問を再開した友の会もあり、電話アンケートと合わせて二四五名の職員が六四六対話に取組みました。また、社会福祉減免や法人独自減免のご案内も進め、地域に広くお知らせする取り組みとなりました。月間に引き続きいのちと暮らし、健康を守るまちづくり活動をすすめていきます。



管理者紹介

勤医協北ヘルパーセンター
勤医協訪問介護看護24時間のぞみ
所長 藤井真希

私が介護職を志したのは、祖母が認知症を患ったことがきっかけです。祖父が亡くなり急激に祖母の認知症が悪化し、私の父は当時は別から札幌を月に何度も往復し介護をしていました。家族だけで介護を行っており、父の精神的・体力的負担感の子供である私も心配でした。家族介護は限界もあり他者が介入することが利用者・家族にとっても大切であると感じ、介護職を志そうと思いましたが、介護業界でお仕事をさせて頂き様々なご利用者様と接してきました。中でも100歳の利用者様をお看取りした事例が印象的です。ヘルパー・訪問看護以外サービスは利用されておらず生活のメ

インはヘルパーで支援していただきました。「死ぬときはここで死にたい」とおっしゃられておりヘルパーが関わりながら最期は苦しむことなく息を引き取られました。このような事例なのでからヘルパーが担う役割の大きさを実感してきました。実践を通じてチームで学習したことや振り返ったことを今後のサービスに繋げていけるよう努力していこうと思えます。



勤医協福祉会で、一緒に働きませんか？

介護職員 看護師 ケアマネジャー リハビリ職 保育士
ご応募・ご紹介をお待ちしています！ 人事共育部 TEL (011) 817-2773